



ひざ掛けの使用について ～生徒集会でルールを確認しました～

12月5日(金) ひざ掛けの使用について生徒集会を開きました。ひざ掛けは平成23年度の冬、保護者や生徒からの要望が強くあり、導入に踏み切りました。しかし、昨年、当初予定していた約束事が徐々にあいまいになり、教室以外での使用などルール違反があらわれました。

そこで、本年度、ひざ掛けを使用する前に、生徒会を中心にもう一度ルールを見直し、学校生活をよりよく過ごすことができるよう、生徒みんなで考えることにしました。まず、「ひざ掛けが学校生活の中で必要かどうか」ということから話し合いました。16学級中、半数の8学級で必要という結論が出ました。次に、各学級で「自分たちで守れる」「中学生らしい秩序ある生活が保てる」ことを意識しながら話し合い、それを集約して生徒議会で審議してきました。最終的な案としてまとまったルールは下記のとおりでした。



<新ルール>

- 色、形は自由（昨年まで使用していたものもあり、新しいものを買うのにお金がかかる）
- サイズは床に着かない、机くらいの大きさ
- 授業中は、教室と特別教室（許可のあった教科）で使う。
- 放課中は、教室で座っているときのみ使用可とする。
- ひざ掛け以外の目的で使用しない。（肩に掛けない、体に巻き付けないなど）

生徒集会では、全校生徒で上記のルールを確認し、12月8日からひざ掛けを使用することにしました。自分たちで決めたルールを自分たちの手でしっかり守り、秩序ある学校にしていきたいと思います。今回の生徒会や自治委員会を中心とした取り組みは、まさに本校の校訓「自修（自らある規範を守って自分で身を修めること）」に通じる素晴らしい実践だったと思います。

2年 職場体験に向けて ～職場体験面接試験、生き方セミナーを実施しました～

2年生は1月20日から4日間職場体験を行います。そこで、職場体験で多くの学びができるように、面接試験や生き方セミナーを実施しました。まず、一人ひとりが様々な職種の中から希望職種を定めます。そして、希望職種別に面接に臨みます。面接官は校長、教頭など学年外の職員が行います。面接ではその職種を志望した理由や自分の長所などが質問されます。みんな、それぞれ事前によく考え、言葉遣いに気をつけながらしっかりと自分の考えを発表していました。今後の入試にも面接はあり、とてもいい経験になりました。

そして、12月11日(木)には「生き方セミナー」を実施しました。サカン元建設の杉浦様を講師に招き、職場での心構えなどお話いただきました。その中で、特に「あいさつの大切さ」や「働くことの責任と大変さ」を学ぶことができました。この教えを胸に職場体験に臨もうと決意を新たにしました。



1年男子、3年男子が3位入賞！ ～碧南市中学校駅伝大会～

11月15日(土) 市内駅伝大会が開催されました。この大会に向けて、1ヶ月ほど前から多くの生徒が参加して練習に取り組んできました。記録会を重ねて8チーム40人の選手を決めて参加しました。その中で、どの選手も一生懸命走りぬぎ、1年男子、3年男子が3位に入賞しました。

特に3年男子はスタートの安藤君が追従を許さぬ快走で、トップでタスキをつなげました。その後の選手も懸命の力走でタスキをつなげました。最終的にはトップと僅差の3位になりましたが、素晴らしいレースでした。参加した選手は、これまでの練習の成果を十分に発揮し、とてもいい表情で走っていました。また、その後に行われた補欠レースで、参加者はみな自己ベストを目指して懸命の走りを見せてくれ、とてもすがすがしい気持ちになりました。



<男子1年の部>	1.5km×5人	
3位	東中A (白井大地、〇〇〇〇、榊原藍斗、野々山結晟、榎本 蓮)	26分13秒
5位	東中B (木田隆城、堀田唯人、奥田達希、山田 昂大、杉田侑輝)	27分12秒
<男子2年の部>	3km×5人	
4位	東中A (生田 輝、白井海斗、〇〇〇〇、杉浦伶音、犬飼 諒)	55分47秒
10位	東中B (西川颯瑠、〇〇〇〇、新美竣也、溝口達也、伊藤智尚)	61分31秒
<男子3年の部>	3km×5人	
3位	東中A (安藤千力、〇〇〇〇、山本晴也、平松正行、工藤涼太)	54分18秒
8位	東中B (小島浩暉、香川光司、隈元凌魁、木田優斗、〇〇〇〇)	62分10秒
<女子の部>	1.5km×5人	
7位	東中A (〇〇〇〇、片山楓華、榊原咲絵、西川真由、堀尾歩見)	30分25秒
10位	東中B (鈴木美彩穂、角谷茉里南、亀田千尋、杉浦由季乃、藤田清美)	32分52秒

8人抜きの快走!! 愛知県市町村対抗駅伝競技大会 (メモリアル駅伝)

12月6日(土) 愛知県市町村対抗駅伝大会が行われました。この駅伝大会は2005年に行われた愛知地球博を記念して、その会場だったモリコロパークにコースをとり、翌年から行われるようになりました。今年はその第9回。本校からは安藤千力君が第2区で出場しました。本校からは、3年前に山田郁美さんが出場したことがあります。安藤君はそれ以来の出場です。32位でタスキを受け、8人抜きの24位でタスキをつなげることができました。起伏のある3.3kmのコースを10分15秒で走る大健闘でした。碧南市は最終的には30位でしたが、雪やみぞれが舞う悪天候の中、みんなとてもがんばっていたなと感じました。

メモリアル駅伝に出場して

愛知県市町村対抗駅伝大会の選手発表の日、僕はドキドキしていました。去年は補欠だったからです。先日行われた市内駅伝大会でも個人記録1位になり、自信がっていました。選手に選ばれたとき、碧南市の代表として恥ずかしくない走りをしようと心に決めました。

本番、僕は第2走者でした。タスキをもらった瞬間、順位を上げようと思いました。この時、碧南市は市の部38チーム中32位でした。

安藤 千力 (3-5)

走り始めたとき、周りの選手は思ったほど速くないと感じました。コースのほとんどは坂道だったので、上りや下りに合わせて走り方を変え、楽に走るようにしました。最終的には8人抜いて24位でタスキをつなぐことができました。チームに貢献できて良かったです。

多くの人の助けがあり、走りきることができました。応援ありがとうございました。